

# 学 校 通 信



尼崎市立園和小学校  
令和2年5月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E40/index.html>

## こんなときだからこそ

国による緊急事態宣言期間の延長を受け、尼崎市でも学校教育活動の再開がさらに延長となりました。各ご家庭におかれましては、お子さまの健康管理をはじめ、家庭学習等においても大変ご負担をおかけしていることと  
思います。ご協力ありがとうございます。

さて、この間の学校の様子を少しお伝え  
します。4月7日には、新しく着任した教職  
員の着任式に引き続き、新しい学年でのク  
ラス分けと学級開きを行いました。翌4月8



日は、園和小学校に131名の元気  
な1年生を迎えました。近隣では  
中止となる自治体がある中、多く  
の方々のご尽力で入学式を行うこ  
とができたことに感謝したいと思  
います。



登校日を予定していた4月13・  
14日は、感染拡大防止のため、急  
ぎょ配布物等受渡日と変更しまし



た。感染予防のため教室には入らず、受付まで並ぶ間  
隔を広げる等、ご協力をいただきましたが、短い時間な  
がら、担任は子どもたちや保護者の方々とお話しする機  
会をもつことができました。



一方、教職員は、学校再開にむけ、  
座席の間隔を広くとるなど密集や対  
面になることを避けながら、研修会  
や勉強会を行っています。いつかは  
あんなこともあったと話せる時が来る日を願いつつ、子  
どもたちを受け入れる様々な準備を進めているところで  
す。ただ、先生方は心なしか元気がありません。学校に  
子どもがいないということの大きさを痛感する日々が続  
きます。

校庭で、チューリップやツツジ、ネモフィラ等の季節  
の花々がきれいに咲いています。

子どもたちに見せてあげられない  
のがとても残念ですが、学校の外  
からでも見えますので、近くを通



ったときにはぜひのぞいてみてください。



連休明けの朝、児童ホームにやって来た子どもと話を  
しました。日本と海外の国々を比べながら、子どもなり  
に自分の意見をしっかり持っていることに感心しました。  
今、結果論で国や自治体の取組を評論する情報がメディ  
アにはあふれています。しかし、このようなときだから  
こそ、どのような心持ちで何をすべきなのか、子どもと  
話をする機会は必要なのではないのでしょうか。そして、  
子どもが今、何を見て何を感じたか、日記等にぜひ書き  
残させてください。いつか読み返して役に立つ時がくる  
ような気がします。

校長 佐野 正信

## ○学校行事について

学校臨時休業の長期化を受けて、様々な課題や懸案事項が生  
じてきました。今後、学校での教育活動が再開されても、  
本校ではまず、子どもたちが新しい学年やクラスになれ、人間  
関係を構築して落ち着いた学校生活を取り戻すことを第一に考  
えてまいります。そのため、本年度5月30日に実施予定であ  
った体育大会は中止とします。それに伴い、6月1日の代休日は  
授業日といたします。今後、2学期以降に新型コロナ感染状  
況等を見ながら、体育学習の成果を見ていただく機会を検討し  
てまいります。

なお、「園和子どもまつり」「音楽会」「修学旅行」「自然学校」  
等の学校行事についても変更等がありましたら、お知らせいた  
します。ご理解とご協力を宜しく願います。

## ○児童に配付されるマスクについて

国の緊急経済対策において、新型コロナウイルス感染拡大防  
止の観点から、児童一人あたりマスク2枚が配付されます。学  
校再開時に児童に直接配付いたします。

